

## 入居するテナントへの古紙分別ボックスの設置と廃棄物担当者の選任の依頼

### 取組の意図、目的、始めたきっかけなど

環境負荷の低減、廃棄物排出量の削減及び資源化率の目標を達成するため、廃棄物の3Rをビル全体で推進しています。



↑ビルの外観



↑各テナントに上記のような分別BOXを設置しています



↑リサイクルセンター（場内の集積所）で再度分別のチェックを行います。



### 取組の概要

#### 紙類資源化の推進

ソリッドスクエアでは、入居しているテナントの大半がオフィスであることから、特に大量に排出される紙類の減量化・資源化に力をいれています。その取組として、テナント入居時には古紙の資源化への協力を依頼するとともに、分別容器の設置を義務付けることで、ビル全体で紙類の資源化に取り組んでいます。

また、収集運搬業者と連携することで、2010年からはシュレッダーした紙類についてもリサイクルルートを確立して、資源化を開始しました。

#### テナントごとの廃棄物担当者の選任と分別のチェック

テナントごとに「減量化・資源化」の推進役としての廃棄物担当者の選任を義務付け、廃棄物の減量と分別の徹底をお願いしています。各テナントから排出される廃棄物は、ビル内にあるリサイクルセンターに集め、そこで再度分別のチェックをした後、収集運搬業者に引き渡します。分別が不徹底なテナントには廃棄物担当者を通じて改善指導、注意喚起を行うなど、ビル全体で廃棄物の減量化と分別の徹底に取り組んでいます。

### 取組のポイント

オフィスビルなど多数のテナントが入居する事業場におけるごみの減量等では、テナントとの間にある意識の差を埋めていかに進めるかが大きな課題です。この取組では、**ビル全体の廃棄物の排出状況等を常に把握するとともに、減量等に向けて各テナントと協力しながらビル全体でごみの減量等を進めています**。特に、それまで各テナントで個別に排出・焼却していたシュレッダーごみについて、新たなリサイクルルートを構築して資源化をするなど着実に取り組んでいます。